



厳しい寒さのなか、ひと足早い春の便り

法人会は「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与する経営者の団体」!

会員増強運動実施中

会員の皆様には、是非、1社につき新規会員1社獲得を目標に
あなたのお仲間企業を会員に!

消費税期限内納付

法人会 一声運動

新潟市中央区西堀通
3番町258番地24
新潟法人会
電話 (223)-1242
FAX (225)-5699



役にたつホームページ

あけましておめでとうございます

－ 2026年新春対談 －



新潟税務署長

伏木生祐子 氏

新潟法人会

会長 並木富士雄

—— あけましておめでとうございます。
——

本日は、伏木署長と並木会長の新春対談をお願いいたします。

2025年を振り返って、ご感想などをお話いただきしたいと思います。最初に伏木署長からお話いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

署長 あけましておめでとうございます。

新潟法人会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、並木会長をはじめ、新潟法人会会員の皆様には、税務行政に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2025年を振り返りますと、7月の定期人事異動で新潟税務署長を命じられ、気持ち引き締まる思いで着任いたしました。

私の出身は埼玉県で、新潟県での勤務は初めてです。新潟税務署に着任した後は、管内や新潟県の実状を知るとともに、法人会をはじめ関係団体の皆様と交流を深め、また、皆様からご支援をいただけるながら、税務行政の円滑な運



営に取り組んでまいりました。

個人的には、おいしい食・酒、豊かな自然、様々な文化や古くからの歴史がある新潟は、とても魅力的で、毎日を楽しんで過ごしてきました。

世の中に目を向けますと、物価高、米価格の高止まり、米トランプ政権の関税政策などによる日本経済、企業活動、家計への影響は、とても気になるところです。

なお、令和7年度税制改正による所得税の基礎控除の見直し等につきましても、法人会主催の研修会を例年以上に開催し、多くの納

税者の皆様に周知をしていただきました。改めて、感謝申し上げます。

会長 あけましておめでとございます。

伏木署長はじめ新潟税務署の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年1年が皆様にとって平穏無事で、実り多い年となりますことを心から祈念しております。

署長のお話の通り、昨年は継続する円安と物価高、米トランプ政権による関税政策への対応、また年後半には高市政権の誕生と地政

学リスクの高まりなど、経済、政治両面において先行き不透明な1年でした。

そのような中でも、新潟法人会として各種課題に正面から取り組み、皆様方のご支援を得て、各種行事や会議など滞りなく終了することができましたこと、関係各位に改めて深く感謝申し上げます。

——近年、社会経済情勢は大きく変化しており、また税を取り巻く環境もDXの進展など絶えず変化し続けております。こういった状況の下、法人会の更なる飛躍に向けて、今後の課題などについてお話しただきたいと思っております。

署長 国税当局では、税務行政のDXとして、「納税者の利便性の向上」「課税・徴収事務の効率化・高度化」「事業者のデジタル化促進」を3本の柱に、社会全体のDXを推進しています。

新潟県全体のキャッシュレス納付の推進につきましては、新潟法人会、新潟県納税貯蓄組合総連合会をはじめとする関係団体、金融機関及び行政機関など官民が連携し、令和6年10月に「新潟県下一斉キャッシュレス納付推進共同宣言」、令和7年10月には「報告会」

が開催されました。

加えて、新潟法人会では、県下全会員に向けたe-Tax及びキャッシュレス利用に関するアンケートや、法人会と金融機関が連携したキャッシュレス納付のサポートを実施していただいております。その成果は新潟県全体のキャッシュレス納付割合の着実な上昇として表れております。今後歩みを止めることなく更に前に進めるため、皆様と課題や情報を共有しながら、一緒に取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。

会長 今、県内会員企業の皆様は、人口減少による人手不足等の経営課題に直面しています。こういった経営課題解決の糸口となる業務効率化の為、新潟法人会では、国税や地方税のe-Tax、eLTAXによる申告やキャッシュレス納付の推進に積極的に取り組んできています。

そして今、法人会が直面している課題は、会員数の継続的な減少への対応です。昨年も、諸物価高騰に伴う経費削減や廃業を理由とした退会が多くありました。何と



しても会員企業の皆様のお役に立ち、地域社会に貢献していくこと以外、会員数を維持・増強していく方法はないと強く感じています。そのためにも、先程の納税事務のデジタル化やキャッシュレス化による生産性の向上・事務の効率化を手助けするためのサポート活動等に今後も注力していきます。また、「会員企業を守りたい」との想いで、福利厚生制度協力保険会社3社と連携し、福利厚生制度への加入者、新規会員の増強に努めていきます。

法人会活動の充実のためには、

これらの「財政基盤の確立」が必要条件です。

ぜひ、税務署の皆様にも、会員増強へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

—— 新年に当たり、伏木署長と並木会長が決意されたことや今年の抱負をお聞かせください。

署長 本年も、皆様からの税務行政に対する信頼の確保に努めるとともに、「適正・公平な課税・徴収の実現」に向けて取り組んでまいります。

また、着任当初から楽しみにしています「にいがた酒の陣」が、

3月7日、8日に開催されます。国税庁の任務の一つであります酒類業の健全な発達にも、注力してまいります。

私個人といたしましては、これから本番を迎える新潟の冬、そして新潟市の花「チューリップ」や桜が咲きそろそろ新潟の春を全力で楽しみたいと思っています。

会長 法人会の理念に立ち返り、税のオビニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献するために、法人会として会員企業の皆様我真にお役に立つ事業活動、情報提供をしっかりと行っていきたいと考えています。キャッシュレス納付利用率のアップに向けたサポートはもちろん、各種積極的な働きかけ、取組みを行いましたと思っています。

私個人としては、今年により健康に留意して、万全の状態です。今年も四季の移ろいを感じ取りながら毎日ウォーキングを楽しんだり、出来る限り健康維持に努めていきたいと思っています。

—— 最後になりますが、伏木署長から何かありましたら一言お願

いたします。

署長 まもなく、令和7年分の所得税等の確定申告が始まります。国税当局では、「あらゆる税務

手続が税務署に行かずにできる社会」という将来像に向けて、マイナポータル連携により、更に利便性が向上しているマイナンバーカードを利用したe-Tax申告を積極的に勧奨するとともに、振替納税などキャッシュレス納付の利用を推進してまいります。

ぜひ、従業員の皆様にも、スマートフォンによる自宅からのe-Tax申告などお勧めいただきますよう、引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新潟法人会の益々のご発展と、新しい年が会員の皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心から祈念申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

—— 伏木署長、並木会長には貴重な時間をいただき感謝いたします。

会員企業の皆様にも、本年が実り多き年となりますよう心から祈念致しまして新春対談を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

源泉所得税の納付はキャッシュレス納付で！

e-Tax ソフト（WEB 版）を利用すれば

「源泉所得税」の納付書の **作成** ⇒ **送信** ⇒ **納付** までをスマホ・PCから簡単な操作で行うことができます！



◆ 金融機関や税務署の窓口に出向く必要がありません！

◆ 納税額が「0円」の場合もe-Taxで簡単に提出（送信）できます！

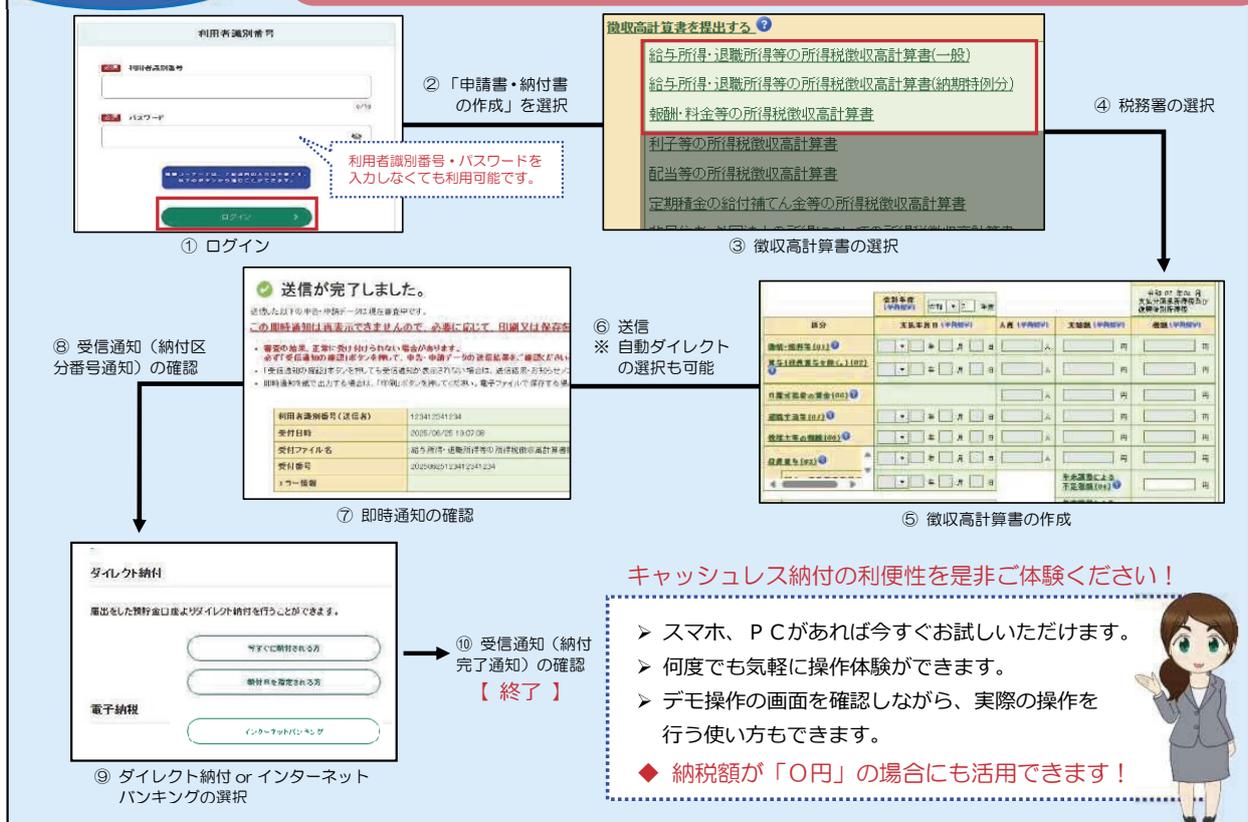
「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」ができました！！

国税庁ホームページで、e-Tax ソフトと同様の画面操作を用いて、以下の流れを体験できるツールです。

- ① 所得税徴収高計算書（給与所得、退職所得、報酬・料金等）の作成・送信
- ② キャッシュレス納付（ダイレクト納付やインターネットバンキングなど）

一連の流れ

徴収高計算書の作成・送信とキャッシュレス納付を体験してみませんか？



詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」はこちら
<https://www.e-tax.nta.go.jp/taiken/gensencashless.htm>



作文コンクール

【新潟法人会長賞】

税金のありがたみ

新潟市立黒崎中学校

二年 涌井 優月

いつも私たちの身近にある「消費税」、みなさんは正直払いたくないと思ったことはないだろうか。そこで、もし日本から税金がなくなると、どのような変化が起こるのか、いくつか例をあげてみることにする。

一つ目、救急車を呼ぶ際にお金がかかる。現在、条件付き、限られたエリアなどを含め、救急車が無料である国は、イタリア、イギリス、シンガポール、日本のたった四カ国である。一方その他の国では救急車が有料かつ高額であるため、たとえ重症者であってもお金がなく、呼びたくても呼べないという人もいるようだ。日本も有料になれば同じことが起きかねないと思う。また、今まで救えたであろう命が救えなくな

る場合が多くなるだろうと考える。

二つ目、義務教育がなくなる。日本の義務教育期間は、小学校六年間と中学校三年間の計九年間にあたる。私たちはこの九年間で個人の能力を伸ばし、社会で自立して生きるための基礎を培うことを目的としている。ただそれは数ある中の一つだ。しかし、その一つのことになくなってしまえば、常識のある人が少なくなるほか、自分の考えをもつことが苦手と感じる人が増えてしまうのではないかと考える。その先社会にでる際、自分の意見がだせないことにより、結果が中途半端になってしまうことや、人に対する礼儀が足りないおろそかな人間をつくりかねない事態につながることも予想される。最終的に日本全体の質が現在に比べ大幅に低下してしまふと考えられるのである。

三つ目、災害に対するお金がでなくなる。

私たちが生まれた年、二十二年は、

東日本大震災が起きた年である。その震災をきっかけにつくられた復興特別所得税は、数多くの人々の助けとなった。また、今もなお続いている。そこでもう一つ今後うわさされている東日本をこえる地震、南海トラフ地震。もし税金がでないとなると、数々の問題が生じることだろう。一つ例をあげるとしたら、各地域に派遣されるはずの自衛隊が出勤しなくなる。東日本の当時、自衛隊により救助された人数は約2万人以上とされている。これ以上の地震で自衛隊が動かない場合、死者・行方不明者は数えきれないほど多くにのぼるだろうと考えられる。

今まで税金がなくなればいいと思っていた軽い気持ちには、国民として非常に失礼だと感じ、税金の大切さを見直す良い機会であったと思う。私が特に大切だと思うのは二つ目の義務教育。今まさにその期間であり、本来の成すべきことを忘れず、社会で恥じないためにも、勉学に励もうと改めて思った。

「税に関する」

【新潟法人会長賞】

「AIと税金」

新潟県立新潟南高等学校

二年 渡辺 大輔

最近、SNSやニュースで「AIが仕事を奪う」という話題をよく目にする。画像を自動で作ったり、文章を書いたり、自動運転の車が登場したり。便利でおもしろいなと思う一方で、「これからの社会はどうなるんだろう」と不安になることもある。そんな時ふと考えた。AIが人間の仕事を奪ったら、税金はどうなるんだろう。

今の日本の税金の多くは、人が働いて得たお金から集められている。給料にかかる所得税、買い物で払う消費税、企業の利益にかかる法人税。もし働く人が減れば、これらの税収は確実に減

る。税金が減れば、学校や道路、災害の支援など、私たちの生活を支える仕組みが揺らいでしまう。高校の校舎の修理や教科書の補助、先生の給料などにも税金が使われている。もしそれがなくなったら、授業料は今よりずっと高くなり、勉強の機会が減ってしまうかもしれない。

では、AIが活躍する社会ではどうすればいいだろう。私は「AIやロボットに税金をかける」という仕組みが必要だと思う。AIを導入して利益を得た企業が、その一部を社会に還元する。そうすれば、失業した人の再教育や新しい仕事を見つけるための支援に回せるはずだ。海外では「ロボット税」という考え方が議論されているそうだ。AIが生み出す利益を社会全体で共有できれば、技術の進化をマイナスでは

なくプラスにできるのではないだろうか。

もちろん、AIに税金をかけるだけで全て解決するわけではない。どれくらいの課税が公平なのか、AIの発展を妨げないかなど課題は多い。それでも、何もしないままでは、私たちが当たり前に受けている公共サービスがなくなる未来が来るかもしれない。

AI時代はもうすぐそこまで来ている。だからこそ、AIで生まれた利益をどう分け合うのか、そのためにどんな税の仕組みが必要か、今から考えるべきだと思う。未来の税金は、人からAIへ。そんな時代が来ても安心して暮らせるように、これからも税のことを学び続けたい。

納税表彰式

令和7年11月13日にホテルイタリヤ軒において、「納税表彰式」が開催されました。

税務署長表彰、国税庁長官感謝状、税に関する作文コンクール、税に関する絵はがきコンクールなど様々な分野で表彰・受彰された方々へ、賞状・記念品が授与されました。新潟法人会関連で表彰対象となった方々は以下の通りです。

税務署長表彰

金井 利郎 氏

関東信越国税局長表彰

金井度量衡(株)

関本喜代一 氏

税に関する作文コンクール

(株)関本製麵製粉工場

新潟法人会会長賞

涌井 優月 さん

新潟市立黒埼中学校



新潟法人会会長賞

渡辺 大輔 さん

税に関する絵はがきコンクール

新潟県立新潟南高等学校

金賞

五十嵐仁悠 さん

銀賞

新潟市立濁川小学校
佐々木玲奈 さん

銅賞

新潟市立鳥屋野小学校
小林 優真 さん

新潟税務署長賞

新潟市立桜が丘小学校
神田 芽依 さん

新潟税務署長賞

新潟市立穂子小学校
野崎 穂子 さん

新潟市租税教育推進協議会長賞

新潟市立牡丹山小学校
堀 祐実佳 さん

新潟市立鏡測小学校

年末特別講演会・懇親パーティー

令和7年12月2日にANAクラウンプラザホテル新潟において、一般社団法人新潟県法人会連合会と共催による年末特別講演会・懇親パーティーが開催されました。

特別講演会は、ネット広告やふるさと納税サイト「ふるなび」運営などを手掛ける株式会社アイモバイルの社外取締役を務めるエコノミストの崔真淑氏より、「地方経済の今と経済学から考える地域活性化」と題してご講演いただきました。世界経済の動向から地域経済の動向ま



で、また地域経済の課題とその解決策の事例まで、大変示唆に富むお話を伺いました。

講演会後の懇親パーティーには、総勢150名を超える皆様にご参加いただき、師走のひとときを賑やかに過ごす大変盛大なパーティーとなりました。

このシリーズは新潟発で活躍されている方々をご紹介します。

シリーズ 人 に見がた発見

「国内外から観光客が訪れる

一大拠点・新潟を目指して

トキエア 株式会社
代表取締役

長谷川 政樹さん



プロフィール

新潟県出身。
1992年4月日本航空株式会社入社
1998年12月同社アメリカ・ナバ運輸乗務員訓練所 総務
マネジャー
2007年5月同社 運輸企画室マネジャー
2010年3月新潟県庁入庁 交通政策局 港湾振興課
2010年10月ジェットスター・ジャパン株式会社入社
事業戦略本部 空港企画部長兼運輸企画部長
2015年5月三菱重工株式会社入社 三菱航空機株式会社
(旧MRJ) 出向
経営企画室 オペレーション室長
2019年4月新潟県新潟空港活性化アドバイザー
2019年12月 TOKI Aviation Capital
株式会社設立代表取締役(現任)
2020年7月トキエア株式会社設立代表取締役(現任)

—— 本日は、新潟と全国各地をめぐり地域航空会社、トキエア株式会社代表取締役の長谷川政樹さんにお話を伺います。お生まれは加茂市で、学生時代を三条高校で過ごされたそうですね。

そうですね。親の仕事の関係で引越しをしていて、中学は新潟市の宮浦中学校でした。将来はマスコミ業界で働きたいという思いがあり、大学生の頃は就職活動で新聞社の試験も受けましたが、最終的には、新聞社か、日本航空か、という選択肢になり、日本航空を選びました。

—— マスコミ志望から、なぜ航空業界へ？

「リアルにものを伝えることを大切にしたい」という思いはありましたが、同じ頃に内定をもらった同期たちの顔ぶれが分かってきて、「この仲間たちと一緒に仕事をしたいな」と思ったことがきっかけで日本航空に入社しました。

—— 日本航空ではどのような経験をされましたか？

ビジネスプランの策定や、機材導入計画に基づいたパイロット配置計画・採用、訓練計画などの策定を経験しました。また、空港業務の改善、空港施設開発などにも携わっています。在職中に日本のフルサービス航空事業を目の当たりにすることができました。

—— しかし、日本航空は2010年に倒産しますね。

就職する時は経営破綻するなんて思ってもいませんでしたから、とても驚きました。会社の経営破綻が決まり、私はパイロットの事業規模を3分の2に削るレイオフ(再雇用を前提とした解雇)という役目を任せられました。しかし、たくさんの人を辞めさせて自分が辞めない訳にはいかないと思い、V字回復を達成したタイミングで日本航空を依願退職。それから、新潟県庁、航空会社ジェットスター・ジャパン、三菱重工で働いた後、現在に至ります。

—— 会社設立の構想はいつ頃から抱いていましたか？

県庁を辞めた後、ジェットスター・ジャパンの立ち上げの頃からでしょうか。航空会社の立ち上げはトキエアが2回目になるのですが、日本航空にいた時には想像したこともありませんでした。というのも、近年は大手地域航空会社でも規模が縮小している実情があります。人口減少を機にお客さまが減り、料金が高くなる。そうなるとうまくいかないと、減便、運休が加速し、地方路線の裾野は絶たれてしまう。しかし、ジェットスター・ジャパンでは料金をリーズナブルにすることで、月1回乗っていたお客さまが月2回乗れる。1年に1回しか乗らなかったお客さまが、1年に2回乗れる

……そういう発想を新潟でやってみたいと考えるようになりました。

——地元で働きたいという思いもあったのでしょうか？

日本航空が破綻していなかったら、地元に戻っていなかったですね。そもそも日本航空に入った時点で新潟に戻るという発想はありませんでしたから。2012年以降、日本航空でレイオフされたパイロットが市場にたくさんいて、そのパイロットや整備士を起用してローコストキャリアの航空会社が頻繁に立ち上げられました。私は、そのなかの一つである外資系のジェットスター・ジャパンにお声がけいただいて立ち上げに参加し、日本人6人、オーストラリア人と一緒に仕事をしていました。そこでは、「社員を大切にする方針」が根付いていたのも衝撃的でした。社員を大切にすると、ローコストキャリアなら、地域航空でも黒字にできるのではと考えました。視野を広げてみると、韓国ではローコストキャリアの路線が50%以上のシェアを持っていますが、日本ではそうではない。海外のように「飛行機は安く乗れる」という発想を新潟から浸透させたい思いからトキエアを立ち上げました。

——地域航空として2020年にトキエアを設立。国内で15年ぶりに

誕生した独立系航空会社となりましたね。

飛行機は整備にとってもお金がかかるものです。大手航空会社でも、機体整備は中国や台湾に出してコストを抑えていて、それが世界標準となっていて。世界標準価格でちゃんとやれるところに、私たちは英語での交渉をきちんと行いながら依頼し、費用を抑えられるように努力しています。地域航空全体の課題も、まさにここにあるのではないのでしょうか。整備だけでも莫大な費用が必要となるところを、上手く交渉しながら路線を増やして規模拡大を図っています。

——トキエアの現在の路線数は？
新潟発着の札幌（丘珠／おかだま）、名古屋、神戸に加え、名古屋



——丘珠。現在運休中の仙台も合わせると5路線です。機体は全部で3機あります。

——2024年1月に丘珠線からスタートしたのはなぜ？

丘珠をベースにしているHAC（北海道エアシステム）という会社があり、こちらの会社でも同じ飛行機を採用しています。札幌丘珠空港で何か飛行機の整備作業が必要になっても部品などの共有が可能なことから、最初の路線となりました。丘珠の皆さんなら機体の知識もお持ちなので安心です。ただ、当初は丘珠線を夏に飛ばす予定だったので、いきなり冬の丘珠に飛ばすなんてとハラハラしました。就航の延期に延期が重なった結果、冬のスタートとなった訳ですが、それでも就航申請から受領までのトータル期間は日本最速だったのです。誰もそれを語ることはありませんけどね（笑）。台湾のスターラックス航空では、申請から受領まで7年かかった経緯があったことから、「日本の航空局は審査が厳しいのに、何でそんなに早く申請許可が取れたんだ！」とびつくりされたくらいです。

——トキエアの機体について。

欧州ATR社の70席クラスのターボプロップ機「ATR72-600」を2機と、滑走路が短い空港への就航を想定し、座席数を減らして軽量

化を図った特別仕様の3号機「ATR42-600」を運行しています。1,2号機については、国内で弊社の他に天草エアライン（熊本県）、JAC（日本エアコミューター／鹿児島県）、北海道のHACなどで導入されているATR製旅客機ですが、トキエア向けの機体は他社とは異なる仕様も特徴です。1,2号機は72人乗りですが、用途に合わせて機内のレイアウトを変えられるカーゴフレックス対応型。44人乗りに変更できる優れもので、貨客混載レイアウトなら44人の旅客と3・1tの貨物を効率良く運ぶことができます。日本国内を飛ばす飛行機としては一番強い飛行機だと思っています。ローペラの機体も特徴です。



—— 旅客と荷物を同時に運ぶ。料金をリーズナブルにできる理由が機体にもあるのですね。

弊社の飛行機は3機ともリースしているものです。1号機と3号機は新潟のナミックス（新潟市北区）さんから購入いただいてリースを受けています。2号機は、もともとヨーロッパの会社、ノルディック・アビエーション・キャピタルというところからのリースになりますが、会社が買収されてしまい、今は持ち主をドバイの会社に変更されました。航空業界ではこういうことが日常茶飯事ですけれども、スタートアップからどうしてもお金はかかります。英語での交渉力、リース機を取り入れることで、比較的費用を安く抑えられています。

—— トキエアではチャーター便も幅広く飛んでいるそうですね。

お客さまのご要望に合わせていろいろな場所を飛んでいます。新潟の夏の風物詩・長岡花火開催時には、上空から観賞する遊覧飛行を行ったのですが、そのようなチャーター便は私たちが日本で初めてと言われていました。車椅子のお客さまも飛行機から花火を観賞されたり、佐渡島の観光名所を飛行機で巡ったりもしました。「新潟平野ってこんなにきれいなんだ！」と驚きの声があがった時はうれしかったです。

—— トキエアの路線合計の利用率が2025年8月、9月と連続して採算目標の70%を超えましたね。

軌道に乗れたとはまだまだ言い難いですが、今まで普通のサラリーマンをやってきた私にとっては大きな功績だと感じています。2025年10月時点でも路線利用率は68%を記録しました。飛行機を小さくすれば搭乗率は必然的に上がるので、搭乗率での換算はあまり参考にならないかもしれないかもしれませんが、昨年と比べてみると2千人の増加になります。平均2千人増ではなく、確実に毎月2千人増えているのです。そうすると、年末年始はさらに増えてくるのではないかと予想しています。本当に有難いことです。まだ飛行機が十分に稼働できておらず赤字続きではありますが、2027年度での通年黒字化を目指しています。

—— 黒字化を目指した新事業にも着手されているそうですね。

新規事業としては、燕三条地域の企業と連携し、LSA（軽量スポーツ航空機）と呼ばれる1〜2人乗りの小型航空機の製造事業に参入しました。このLSAは日本で実用機として認められていないため、アメリカ国内での販売を目指しています。その他にも、定期便で使用している72人乗りの航空機を活用して、新潟・名古屋・神戸・札幌を起点にチャ-

ター便を運航する予定や、アプリを利用した法人向けチャーター事業を開始する計画もあります。マイルの利用や病院、レストランの予約などを一括して行えるアプリが日常的に使えるようになれば、お客さまの利便性向上も実現できるはずですよ。そのためにも、航空事業単体での黒字化は必要不可欠です。

—— 2025年10月にはトキエアの共同CEO（最高経営責任者）である和田直希氏と、取締役就任した実業家の堀江貴文氏の会見が行われ、注目を集めましたね。

多くの方にトキエアを知ってもらうことは重要なので、利用率が70%に到達したとはいえ、やはり80%ぐらいの搭乗、当然100%までお客さまが乗れるので、そこに近づけることが私の仕事です。航空会社で長年働いていると安全面に配慮した仕事には自信がありますが、集客に関しては全くの素人。その苦手な部分を、影響力のある皆さんから頑張ってもらい、たくさん笑顔を増やすことにつながればと思います。

—— 今後の展望を教えてください。

理想的な新潟モデルを、今後全国各地で展開できれば一番いいかなと思っています。あとは、海外の航空会社さんとの連携も水面下で着手してきました。あまり空旅になじみの

ない新潟県の方々に、もっと飛行機を愛用していただけたらうれしいです。

—— 長谷川さんが思い描く、「新潟モデル」とは？

新潟空港から国際線の乗り継ぎができるようにすることで、新潟でちょっと楽しんでから帰って来たり。国内のトランジットとして活用いただける仕組みづくりを私たちは形にしようとしています。そうすることで、初めて新潟を訪れた外国人の皆さんも、「新潟に来たら北海道へ行こう」と思ってくれるようになるはずです。降り立った先でも難なく観光をお楽しみいただくためには、鉄道各社との提携も欠かせません。

トキエアをきっかけに、多くの人が外に出てほしい。外に出てみないと新潟の良さも、他県との違いも分からないものです。若い世代の人たちには特に外へ出て、自分たちの夢や目標を見つけてほしいですね。さまざまな社会課題も、外に出ることで解決策が見えてくるのではないのでしょうか。

—— 新潟発着の空の旅が、今後さらに盛り上がりそうですね。貴重なお話をありがとうございました。

随想

夕やけこやけ



エンパワメント



新潟日報社 企画総務局
読者応答担当部長
与口 幸子

ようで、誇らしい記憶としてずっと心に残っていました。

「あなたとはほんと、いい骨格しているよねえ」というのもその一つです。高校時代、同学年の友人に、感心したようにそう言われま

した。テニス部と美術部を掛け持ちし、洋楽を趣味とする、センスがよくて大人びた彼女に、人間としての基礎的な部分を褒められた

卒業して数十年。関東方面に暮らす同級生たちが毎年東京で忘年会を開いていると聞いて、今回、新潟から参加しました。そこで久しぶりに会った彼女と話すうちに、うれしくなって、くだんの骨格の話をしてみたのですが、当人はそんな発言はすっかり忘れていました。「でも、本当にそう思ったから言ったんだろうね。私、骨格フェチだったから」。そう言っ

て、あははと笑う彼女は、当時の面影そのままでした。多分、私をポジティブにしてくれる他の言葉たちも、口にした彼らにすれば、たいした熱量はなかったの

でしょう。でも、そうであれば逆に、

私も知らないうちに誰かを力づけているのかも！ 何気なくではあっても、お世辞ではなく本心から発した言葉が、知らず世の中を明るくしていく。三次会からの帰り道、東京駅に向かう雑踏の中で、旧友たちとのひとときを楽しく思い返しながら、「新しい年は、本音の賛辞は遠慮せずにどんどん伝えていくことにしよう」と心に決めました。

今号の「シリーズ人々がた発見」は、トキエア株式会社 長谷川社長のインタビューです。「飛行機は安く乗れる」という信念のもと、機体整備を世界標準に合わせることで効率化と安

編集後記

全性を両立させ、地域航空会社全体の課題に真正面から向き合う姿勢に強いエネルギーを感じました。新潟空港からの「空旅」が、もっと身近に、もっと気軽になると良いですね。昨年、娘が初めて飛行機に乗る機会があったのですが、搭乗前の緊張と楽しみが交錯して落ち着きがない姿に、新婚旅行で初めて飛行機に乗った時の自分を重ねて、妻に緊張を悟られないように強がっていたことを思い出しました(笑) 今年、60年ぶりの丙午ですね。エネルギーで変化の激しい年ともいわれますが、皆さまにとって、穏やかで実り豊かな一年になりますように。

広報委員 志田 征二郎

特別講演会のご案内



- 日時 令和8年3月7日(土) 13:30 ~ 15:00
- 入場料 無料 (お1人様未使用タオル1本以上のチャリティーにご協力ください)
- 会場 ANAクラウンプラザホテル新潟 3階「飛翔」 新潟市中央区万代5-11-20 (駐車場には限りがあります)
- 講師 お笑いコンビTIM **ゴルゴ松本氏** 演題「出張! ゴルゴ塾 命の授業」
- 申込方法 会員の方は送付済のご案内にてお申込みください 会員以外の方は電話又はWEBにて受付いたします TEL 025-223-1242・1243
- 締切 令和8年2月25日(水) 但し、定員(600名)になり次第締切ります

